

「情報モラル講演会」を開催

『夏休みを前に、SNS上への写真や個人情報の投稿の危険性や、SNSでのからかいや誹謗中傷が犯罪等につながる危険な行為であることを再確認する』という目的で、総務省 中国総合通信局の「e-ネットキャラバン事業」を活用し、暑い中ではありますが、1・2年生を対象に情報モラル講演会を開催しました。生徒の感想を読むと、夏休みを前に自分のスマートフォン等の使い方を振り返る良い機会になったと感じました。

開催日時：7月16日(金) 14:15～15:05(6限)

会場：松江東高校 体育館

参加者：1・2年生

講師：廣本 萌 さま（総務省 中国総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 消費者行政担当チーフ）

【参加者の感想（抜粋）】

◇「講演を聴いて、これまでの自分のSNS等の使い方を振り返って感じたこと」

- ・人からの返信が気になって、スマホが手放せない。
- ・既読がつかずに「イラッ」としたことがあった。
- ・寝る前に使ってしまう、朝、起きられなくなることがあった。
- ・自分のまわりでもよく起こっている。
- ・自分や友達の写真を無許可で投稿していた。
- ・友達の友達など自分とは実際にかかわりのない人について個人情報を送ることが少なくないので、よく考えて行動したい。
- ・少し危険なサイトでも、まあ大丈夫だろうと思って開いていた。

◇「講演を聴いて、今後の自分のSNS等の使い方について感じたこと」

- ・時間を制限するアプリを使ってみようと思った。
- ・友達とルールを決める。
- ・グループラインなどで友達の返信が遅くても気にしないように、相手の気持ちも考えることが大切。
- ・一時的な感情でコメントしないようにしたい。
- ・使用時間の制限は、寝る時間や勉強時間の確保に必要なと思った。
- ・夏休みに入る前に聞いて良かった。夏休みになっても、アプリで時間を調整するなど、依存しないよう心掛けたい。
- ・夏休みになるので、スマホばかりやって無駄な休みにしないようにしたい。

